

15

給水装置工事図面作成

15 給水装置工事図面作成

1 解説

給水装置工事申込時に作成する図面は、施工時の指針となるものであり、竣工時に作成する図面は、給水装置の適切な維持管理及び将来における調査資料となる為、正確かつ分かり易いように作成しなければならない。

2 図面の定義

(1) 平面図

道路及び建築平面図に、給水装置及び配水管の位置等を図示したもの。

(2) 立面図（アイソメ・アクソメ図）

給水管の配管状況等を 30° ・ 45° の角度から立体的に図示したもの。給水装置及び配水管の位置を記入する。

(3) 管割図

(ア) ダクタイル鋳鉄管の接続状況等を図示したもの。ただし、ダクタイル鋳鉄管を使用する場合に限る。

(イ) 配水用ポリエチレン管（口径 50 mm 以上の高密度ポリエチレン管）の接続状況等を図示したもの。ただし、配水用ポリエチレン管を使用する場合に限る。

(4) 先行取出概要図

申請地における先行取出しの状況及び認定 No. を図示したもの。ただし、先行取出給水管を使用する場合に限る。

(5) 給水管系統図（平・立面図）

道路及び建築平立面図に、給水装置及び配水管の位置を図示したもの。

(6) 占用平面図

配水管から申請地までの占用長さを図示したもの。掘削数量等を面積で示すもの。

(7) 占用断面図

配水管から申請地までの占用長さを断面表示したもの。掘削数量等を体積で示すもの。

3 図面作成時の注意事項

(1) 給水装置工事申請図【給水装置工事申込図面及び竣工図】

(ア) 平面図

(A) 方位・縮尺

原則として方位は北を申込書の上方とし、縮尺は 1/100～1/200 程度の範囲において適宜作成すること。

(B) 布設する給水管の口径・管種・管長・位置及びメーター・給水用具の取付け位置を図示する。

(C) 道路の種別（舗装種別・幅員・歩車道区分・道路区分・水路・U/L 字溝等）を図示する。

(D) 公私有地、隣接敷地の境界線及び敷地寸法を図示する。

(E) 分岐する配水管及び既設給水管等の管種・口径・管長を図示する。

- (F) その他、工事施工上必要とする事項（障害物の表示等）を図示する。
- (G) 上記以外の事項については、企業団に確認すること。
- (イ) 立面図（アイソメ・アクソメ図）
 - (A) 縮尺はフリーとする。
 - (B) 平面図に準ずる他、立ち上りの延長を図示する。（平面図との整合を図ること。）
- (ウ) その他
 - 貯水槽式給水の場合は、直結給水部分（貯水槽の入口であるボールタップまで）と貯水槽以降に分け、貯水槽以降の図面には水栓マークのみ図示する。立面図は、直結給水部分のみ記載する。撤去管の位置を図示する。
- (2) 給水管系統図【3階直結及び増圧式給水事前協議】
 - (ア) 平面図
 - (A) 給水装置工事申請時の平面図に準拠する。
 - (B) 第1止水栓の位置を図示する。
 - (C) 第2止水栓の位置・FJ・増圧ポンプ・警報盤の位置を図示する。【増圧】
 - (D) 非常用水栓の位置を図示する。【増圧】
 - (E) 方位
 - (イ) 立面系統図
 - (A) 給水装置工事申請時の立面図に準拠する。
 - (B) 第1止水栓の位置を図示する。
 - (C) 第2止水栓の位置・FJ・増圧ポンプ・警報盤の位置を図示する。【増圧】
 - (D) 非常用水栓の位置を図示する。【増圧】
 - (E) 縦管の立ち上がり付近のバルブ・先端のバルブを図示する。
 - (F) 空気抜き弁の位置を図示する。【3直】
 - (G) 給排気弁・水撃防止器具の位置を図示する。【増圧】
 - (ウ) その他
 - 撤去管の有無、その他協議事項について図示する。
- (3) 占用図【道・水路占用申請】
 - (ア) 平面図
 - (A) 道路幅員、センターライン、U字溝を図示する。
 - (B) 布設する給水管の口径・管種・管長（占用数量）を図示する。
 - (C) 隣地境界から布設する管までの距離を図示する。
 - (D) 舗装復旧する面積を記入する。
 - (E) 掘削部分、下水道管の掘削がある場合は、併せて記入する。
 - (F) 撤去管がある場合は、撤去管の管種・口径を図示する。
 - (G) 方位・縮尺を図示する。
 - (H) 用紙に収まらない場合は別紙とする。
 - (イ) 断面図
 - (A) 布設する給水管の口径・管種・管長（占用数量）を図示する。
 - (B) 地表から布設する管までの距離を図示する。
 - (C) 掘削数量の計算式を記入する。
 - (ウ) 案内図

申請地を地図内に赤色で図示する。

(エ) 見取図

申請地を地図内に赤色で図示する。

(オ) その他

上記以外の事項については、企業団に確認すること。

(4) 先行取出工事設計図【先行取出工事申請】

(ア) 平面図

(A) 方位・縮尺（方位は北を上方とし、縮尺は 1/100～1/200 程度）を図示する。

(B) 布設する配水管の口径・管種・管長・立ち上がりまでの取付位置・オフセット・給水用具の位置を図示する。

(C) 分岐管の口径、管種を図示する。

(D) 道路種別（道路区別、歩車道区分、水路、U字溝、復旧断面図）を図示する。

(E) 道路及び隣地境界（境界線、敷地寸法）を図示する。

(F) オフセット

① オフセットを計測する箇所は、配水管からの分岐位置を図示する。

② オフセットの測点位置は、境界杭から分岐位置（2 点以上）を図示する。

(イ) 立面図

(A) 縮尺はフリーとする。

(B) 平面図に準ずる。（平面図との整合を図ること。）

(ウ) 案内図

(A) 申請地を地図内に図示する。

(B) 住宅地図ページ、マッピング番号を記入する。

(エ) 復旧断面図

組成、埋設深さを図示する。

(オ) その他

(A) 既存水道番号がある場合は、使用する区画を明記すること。

例) 水道番号 XXXXXXX は、XX 区画で使用。

(B) 口径が 75 mm 以上となる場合は、作成する図面内容について事前に企業団と調整すること。

(C) 上記以外の事項については、企業団に確認すること。

4 図面表記

表 15-1…配水管・給水管の図面表記

種別	線種	線色
配水管	破線	黒
給水管	工事種別による	赤
連合給水管（認定）	工事種別による	黒
連合給水管（幹一有）	工事種別による	赤

表 15-2…工事種別による図面表記

給水管工事種別	線種
新規（新設管）	実線
改造（既設管）	破線

表 15-3…管種による図面表記

区分	管種	線種
I	波状ステンレス鋼管 (SU,SUS)	1本線
	高密度ポリエチレン管 (PES,PEK)	1本線
	ダクタイル鋳鉄管 (GX,NS,DT…)	1本線
	ライニング鋼管 (VB・VD)	1本線
	石綿・石綿スチール管 (AC・AS)	1本線
	架橋ポリエチレン管 (XPEP・XPE・PEX)	1本線
	ポリブテン管 (PB・PBP)	1本線
II	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HI)	2本線
	硬質塩化ビニル管 (VP)	2本線
	ポリエチレン管 (PP)	2本線

- ※ 提出前に予め平面図と立面図の整合を必ず確認する。
- ※ 立面図に明記した管長・管種・口径は、平面図にも必ず明記する。
- ※ スペースが足りず管長が明記できない場合は、該当部の詳細図を作成すること。